

平成 30 年度第 4 回 多摩市男女平等参画推進審議会 要点録

開催日時：平成 30 年 8 月 21 日（火曜）19:00～20:40

場 所：TAMA 女性センター 活動交流室

出席委員：広岡守穂委員、木本喜美子委員、安藤慎次委員、飯島明美委員、神子島健委員、神山直子委員、堤香苗委員、真野文恵委員（会長・副会長以下 50 音順）

欠席委員：なし

事務局：山本課長、西主査、丹羽

傍聴者：3 名

（発言者凡例：◎会長、○委員、◇事務局）

1 開会

2 報 告

(1) 平成 30 年度第 3 回多摩市男女平等参画推進審議会要点録について

◇平成 30 年度第 3 回要点録（案）について修正等があればこの場でご意見をいただくか、8 月 28 日（火曜）までに事務局に連絡をいただきたい。（後日、修正なしで要点録を確定した。）

3 議 題

(1) 平成 29 年度「多摩市女と男がともに生きる行動計画」推進状況外部評価の最終版について

◎資料 15¹に基づき、外部評価の最終版について説明。

⇒委員了承

(2) 提言テーマの選定について

◇資料 17²、資料 18³、資料 19⁴、資料 20⁵、資料 21⁶に基づき、事務局から提言のテーマの候補について説明。

◎今までの議論を踏まえ、提言テーマとして 5 つほど提示されている。相互に排他的・選択的という性質のものでもないが、今日の会議ではこれらを手掛かりに課題を整理し、提言の表題や見出しを検討していくようなイメージで審議を進めたい。

1 資料 15 平成 29 年度 多摩市女と男がともに生きる行動計画推進状況外部評価（最終版）

2 資料 17 平成 29 年度 多摩市女と男がともに生きる行動計画推進状況外部評価（最終版）

3 資料 18 男女平等・男女共同参画に関する多摩市民意識及び実態調査報告書 2015

4 資料 19 としま 100 人女子会報告書

5 資料 20 内閣府取組指針抜粋・避難所チェックシート

6 資料 21 女性活躍推進法関係資料

【全体的な視点に関する意見】

- ◎まず、女性の視点を大切にしまちづくりは市長の所信表明等で言及しているものである。審議会の立場としては具体的な中身を肉付けし、指針や方向性を示すことになるのだろう。その際は、3点目に挙げられている「次期行動計画に向けて10年間の社会の動きから新しい課題を抽出、洗い出していく」という視点も盛り込めるだろう。
- ◎審議会が提言するのはあくまで例示であって、提言の趣旨や精神を受け止めてもらえるような表現にしないといけないと思う。例示をそのまま受け止めて、「できます」「できません」という話ではない。
- ◎今まで多摩市が行ってきた様々な取組みを振り返って、過去の財産を明らかにする必要があるだろう。その上で、行動計画の改定や女性活躍推進法などの要請があるのなら、財産の中のどこに焦点をあて磨きをかけて多摩市らしさを発揮していくのかをここで審議して行くのが良いと思う。また、5つのテーマには共通項がある。それを探っていければなお良い。

【女性の視点に立った防災に関する意見】

- ◎男女平等参画の視点に立った防災は、区部では男女共同参画のセクションが主導して行ったところもあるが、市役所の体制によっては女性センターの所掌範囲を超える可能性もある。市の事情に即した形で取り上げるという点に留意しなければならない。
- ◎女性の視点に立った防災は前々からこの会議の中でも出ている話題である。特に避難所の運営において女性が運営の側に入るといことは何度でも述べる必要がある。東日本大震災後の東北では、集落の再建をするときに女性の視点がなかなか入らないという課題がある。短期的なスパンでの災害対策はもちろん、長いスパンでの復興に女性の視点を入れる仕組みをあらかじめ作っておくことも大切である。
- ◎防災計画では自分の自治体が被災したときのことを念頭におくが、近くの自治体で被災した時に自分たちの地域の人たちがどれくらいボランティアに行くかということも考えないといけない。発災時の女性センターの果たすべき役割なども考える必要がある。
- ◎多摩市のハザードマップでも水害などの被害が想定されている。昨今の異常気象を考えると、防災は地震だけではない。水害なども含めた新しい形で、多摩市で完結する防災というのを進めていければいいと思う。液体ミルクを揃えて、女性が安心して避難所を活用できるような施策を提案できればいいと思う。女性の視点ということは、車いすの方や介護者にも広がりがあるかもしれない。
- ◎職業が男女に分かれる典型職が消防職。世界的に見ても、消防団は男性がメインで女性の参入が中々進まない。防災意識を高めていくような取り組みをするのはどうか。遠隔地の自治体が被災地に行くボランティアに交通費を出すなどの取組みをしていた例がある。社会的資源として色々な人たちの善意を繋げて

いく視点を取り込みながら、多摩市でどう立案していけばいいかという視点にたてば、課を横断するような防災意識の醸成という提案ができるのでは。

○また、新しい課題の洗い出しという点ではLGBTなどの新しい課題にどう向き合うかというところも気になる。

◎防災とLGBTを一緒にしたような取り組みができないか。

○防災については、トイレなどの問題で障害者やLGBTの方がすごく困っている。「女性が」でなく、みんながという視点を打ち出せると良い。

【女性センターの認知度に関する意見】

○女性センター設立以降女性センターを支えてきた人たちは高齢化してきている。女性センターは若い世代の認知度が低いので、市民意識調査を市民参加でやっていく、あるいはベビーキープがどこにあるかマップを作るみたいなことを若い世代を巻き込んでやっていく、そのことで多摩市の男女共同参画の広がりを作るというのはどうか。女性センターを活性化しながら企画や調査として目に見えるものができればと思っている。

○100人女子会のように、若い世代を巻き込んで自分たちの街を見直したり考えてみるというのは裾野を広げるという意味でとても面白い視点だと思った。女性センターに興味を持ってくる人も掘り起こせそうである。

○女性センターには若い世代をひきつけられないという課題がある。若い世代というと若いお母さんで地元で根ざして地元で繋がりを求めている人というイメージがあった。しかしこのイメージは確かに固定的な役割分担に基づいているものもある。女子会を企画していくとしても、どのように女性センターの活性化に繋げていくかという難しい。

○多摩市若者会議をすでにやっていて、また若い女性をとやると、似たようなものをまたやるのか、という感じがする。

○女性のあり方を考える会議に男性も参加するというのも良い。

○一方で、100人女子会は女子会だからこそ成り立つのかもしれない。

◎女子会をするにしても、TAMA女性センターが企画して行うということが大切である。

○多摩市はニュータウンと既存区域で分断されている。多摩センターの地域にも女性センターのような施設が必要である。

○出張所で女性センターの講座等の申し込みができるようにするだけでも違うのではないか。

○女性の視点を大切にしまちづくりで大切なのは男女共同参画の視点である。女性が働きやすくするために育児休業などを整備してきたが、男女の役割分担をより強固にしてきた面もある。女性センターという名前を変えてもいいのかもしれない。男女共同参画と女性センターという名前は結び付かない。みんなが暮らしやすい街というイメージを持てるような名前を募集してはどうか。条例を読み直していたら事業者の役割が書いてあった。他自治体の事例で、市と家具の企業が組んで場所を借りてイベントを実施していた事例もある。企業も

巻き込んでみんなが暮らしやすい街を実現していくことも検討してほしい。

- ◎女性の視点を大切にすることは、ともすれば無視されがちな弱者の視点を踏まえなければいけないということである。
- ◎市民意識調査についてはこの場で設問の検討を行ったり、特に若い世代の認知度向上を念頭に、市民参加で分析をしてもいいのではと考えている。ただし、業者に委託するにしても市民参加で行うにしても、アンケート調査が踏まえるべき原則を踏み外さないような注意は必要である。

【女性活躍推進法関係に関する意見】

- ◎5 点目の女性活躍推進法関係は、現在の行動計画に女性活躍推進計画の内容をどのように取り込んで行くか、また、企業表彰などの具体的事業の提案も可能である。
- 市民の関心が高いところに対し政策提言するのが良い。意識調査 54 ページに男女共に働きやすい環境整備に関する質問がある。女性活躍推進にもリンクする。男性も女性もそれぞれが自分らしく働くには何があればいいのかを取り扱うのはどうか。多摩市だけで取り組むのは難しく、国や都との連携にも視野を広げたい。政策的に多摩市だけで完結することを考えなくてもいいのではないか。

【まとめ】

- ◎女性の視点を大切にしまちづくりという市長の言葉は受け止めた上で、他の論点を盛り込めるような形で提言していけばいいのではないか。いくつか具体的な提言を行うので参考にさせていただき、市としては、提言にある精神を踏まえてこんな施策を打ち出したという関係を見据えてほしい。
- ◎事務局と相談しながら本日の意見をまとめ、提言の方向性を示す。次回はそれをもとにさらに議論を深めていく。

(2) その他

【平成 30 年度第 5 回推進審議会の開催予定】

- (議題) 政策提言 (現状及び課題の分析)
- (日時) 平成 30 年 10 月 5 日 (金曜) 19 時～
- (場所) TAMA 女性センター 活動交流室

【平成 30 年度第 6 回推進審議会の開催予定】

- (議題) 政策提言 (提言案の作成)
- (日時) 平成 30 年 12 月 4 日 (火曜) 19 時～
- (場所) TAMA 女性センター 活動交流室

4 閉会